

事業所名

社会福祉法人松原愛育会  
児童発達支援センター みちのポケット

## 児童発達支援 支援プログラム

作成日

令和6年

10月

4日

法人（事業所）理念	愛であなたを支援します		
支援方針	お子さま一人一人の「やりたい」という気持ちを大切に、「できた」という経験の中で自己肯定感や他者への信頼を育みます。		
営業時間	9時	0分から	17時30分まで
	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	お子さまの発達段階に応じて、就学までに必要な基本的な日常生活スキル(衣類の着脱、排泄、お片付けなど)の獲得を目指します。	
	運動・感覚	遊びを通じて、日常生活に必要な動作の獲得や姿勢保持などの感覚を養います。お子さまに適した道具の選択の仕方や、工夫の仕方を専門職スタッフがその都度ご相談にのります。	
	認知・行動	お子さま一人一人の認知特性を理解し、遊びを通じて適切な情報の処理や外界の認知の形成を促します。	
	言語 コミュニケーション	お子さまの「伝えたい」「伝わった」という気持ちと達成感を大切に、一人一人の発達に応じたコミュニケーションスキルの獲得を目指します。	
	人間関係 社会性	共同遊びや集団遊びを通じて、アタッチメントの形成と環境に対する安心感を育みます。「一人じゃない」「誰かとやったら大丈夫」といった安心感のもと、個別/集団の両方の場で他者への興味・関心を促進します。	
家族支援	保護者さまがお子さまの心身の発達状況やその特性を理解するプロセスに寄り添うとともに、具体的な支援の方法を相談・共有することで、お子さまとのよりよい関係性を育めるよう後押しします。更に、ごきょうだいの気持ちにも寄り添いながら支援します。	移行支援	お子さまの発達のプロセスやライフステージの変化に応じて、お子さまの通う園や事業所と連携・協働しながら、一貫性のある支援、切れ目のない支援を目指します。お子さまが地域のそれぞれの場で生き生きと活動できるよう橋渡しを行います。
地域支援・地域連携	お子さまの通う園や地域の事業所等とのつながりを持ち、また、地域の協議会などに参加することで、お子さまの安心できる暮らしや育ち、誰もが主役になれる社会を念頭に地域づくりにつとめます。	職員の質の向上	CDS-Japanの総会や研修会をはじめとする研鑽の場に参加し、職員一人一人の質の向上を目指します。また、それぞれの専門分野における研鑽を惜しまず、新しい知見などを事業所内で共有し、事業所全体の質の向上を図ります。
主な行事等			